




新居浜市瀬戸会館

〒792-0821 新居浜市瀬戸町7-30
 Tel : 0897-41-5859 (Fax 兼用)
 E-mail : seto@city.niihama.ehime.jp





10人会のお知らせ

瀬戸会館利用者や地域の皆さん方とのコミュニケーションを通じて、皆さんに必要とされる館運営を目指しています。館運営に関すること、地域づくりに関すること、相談ごとなど何でもありの空間です。仕事の帰り、夕方の散歩、少し寄り道をしてみませんか。毎週木曜日19時まで事務室を開け、皆さんのお越しを待っています。

瀬戸会館相談事業

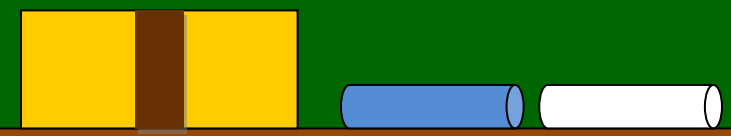
瀬戸会館では相談員による相談活動を行っています。「生活や仕事の不安、人権に関する問題、困っていることはあるがどこに相談していいのかわからない。」など、どんなお悩みでも結構です。一緒に考え、あなたのお力になればと思います。相談員は原則、月・水・金の9時から15時まで在館していますが、そのほかの曜日、時間帯でもかまいません。来館されても、お電話でも結構です。お気軽にご相談ください。



□月○日 (●曜日) 日直 高津 浦江

9月の行事予定

- ★ゆめじゅく編集委員会
9月11日(金)13時30分～
- ★移動図書館青い鳥号
9月9日(水)・30日(水)
14時～14時40分
- ★「人権のつどい日」
9月11日(金)19時30分～
内容：「女(ひと)と男(ひと)」～ともにいきいきと暮らせるまちをめざして～
講師：中津 博子さん(ウィメンズプラザ所長)
- ★回転木馬(泉川小学校)
9月15日(火)10時00分～11時00分
- ★人権・同和教育関係行事
9月3日(木)・4日(金)
愛媛県隣保館職員実務担当者研修・館長等研修(瀬戸会館)
9月25日(金)
第2回人権・同和教育担当者会(瀬戸会館)
9月30日(水)～10月1日(木)
第13回全国女性職員研修会(別府)



西条市で全人教教育課題別研究会が開催される!!

7月30日(木)西条市の総合文化会館において全人教教育課題別研究会が開催されました。

午前中は、開会行事と全人教副理事長の中村衛さんの「地域から学ぶ人権教育をともに～豊かな部落問題学習の創造～」と題した講演であった。講師は、早いもので同対審答申が出て50年、そして戦後70年、社会環境はこれまで様変わりをしたが、それに伴い、子どもたちのまわりの環境も随分と変わってきていて、子どもの貧困率、児童虐待、不登校児童など子どもの置かれている環境は、必ずしも良くない状況が心配だという。


私が注目したのは、学年が進行するにしたがって自尊感情が低下することだ。自分を大切にできないものは、人も大切にしないことにつながると思うからだ。特に人権に関わる大切な課題だと思いました。

午後からの分散会は、宇和島市の遠見子ども会、四国中央市の長津小学校、昨年、隣保館の先進地研修先であった和歌山市の岩橋子ども会、以上3本の報告を受けました。

それぞれ解放子ども会ではありますが、本市の中高生友の会と関わりのある内容であった宇和島市の発表には、特に興味深く聞かせていただいた。

今回の研究会は、初めての参加でしたが、期待以上の成果がありました。発表は勿論の事、それぞれがフロアーからは自分を語るなど、感銘を受けました。関心と熱さが伝わった研究会でした。

特に印象に残った「人権は、夢や希望を切り拓く土台である。人権教育は、権利であり希望です。」この二つのフレーズを大事にしたいものです。



お知らせ

新居浜市の福祉や健康に関する
各種事業の一部をご紹介します。

- ア 自立相談支援事業**
 - 新居浜市社会福祉協議会(ふれあいプラザ) 47-4976
 - 生活や仕事についての不安等に対する相談活動
- イ 健康相談**
 - 新居浜市保健センター 35-1070
 - 毎月、第3火曜日14時から16時、予約が必要(新居浜市民)
- ウ 成人歯周疾患検診**
 - 新居浜市保健センター 35-1070
 - 10月31日まで、40歳から70歳の新居浜市民
- エ 介護支援ボランティア**
 - 新居浜市地域包括支援センター(市役所2階) 65-1245
 - ボランティア受入登録をしている新居浜市内の施設でのボランティア活動
 - 新居浜市在住の介護保険第一号被保険者(65歳以上)で、要介護認定及び要支援認定を受けていない人

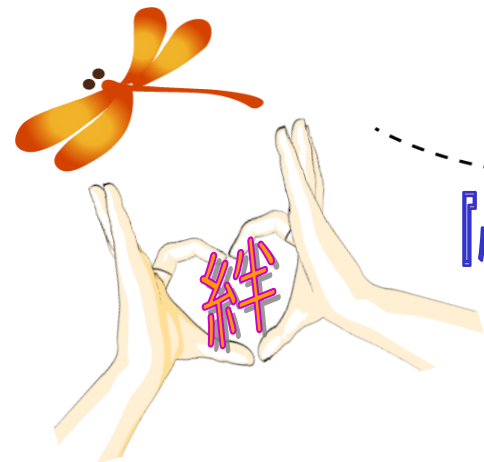
全て無料です。パンフレットは瀬戸会館にありますが、詳しい内容の問い合わせは、上記連絡先をお願いします。このほかにも瀬戸会館にいろいろなパンフレットを置いています。お気軽にご来館ください。

天まで届け！ひまわりの花



新居浜南高等学校講師 石田伸一さん

- 差別は人間が作り出したものだから、私たちの手によって差別を解消することができる。そのためには、想いを伝えること、それをしっかりと聞くことが大切。それが活動の力になる。
 - 大人の偏見や誤った判断で、幸せが奪われ、多くの命が奪われる。今を生きる私たちが、ひとりの人間として「真摯に生きる」ことが大切である。
 - 共に笑い、泣き、寄り添っているか。共に笑い、泣き、寄り添う立場に立っているのか。例えば、介護施設の職員さんは、「おいしいですか」ではなく「おいしいですね」と、声をかける。共にという姿勢が想いを通わせる。
- 参加者の感想に、「人を想うこと、人に寄り添うことの大切さを改めて感じました。」「寄り添う心をいろいろな人に伝えられるよう、考えて行動していきたいと思いました。」「人は、人を想うこと、人に思われることで生きていける。という石田さんの言葉が心に染み入りました。」など、想うこと、想いを伝えること、寄り添うことの大切さを実感させていただきました。



『心は見えないが、心づかいは見える。
思いは見えないが、思いやりは見える』

ACジャパンの全国キャンペーンで、紹介された言葉です。私の好きな言葉というより、いつまでも心の中で温めていたい言葉です。人の優しさは、接する人に希望を与え、自分自身を元気づけてくれます。優しさ表現することは、案外難しく、勇気のいることが多いものですが、目に見える心づかひや思いやりを、行動で示すことのできる優しさや勇気を自分自身の内に育てていきたいものです。

そして、優しさを自然に表現できるようになる前提として必要なことが、他者理解です。優しさを発揮しようにも、相手の気持ちがわからないのではお手上げです。自分の想いを伝えるために、相手の想いを感じ取る感性が大切です。多くの人との出会いの中で、多様な体験を積み、想いを聞き取り、想いを伝えること。そして、寄り添い支えあう人の輪を広げていきたいものです。

であい展&夏まつりが開催

8月12日から16日までの5日間、第8回「であい展」を開催しました。展示された作品は力作ぞろい、見る方も感心しきりです。センスや技術はもちろん、大変な時間と労力を感じる作品に圧倒されました。即売品のコーナーもあり、気に入った手作り作品をたくさんの方が購入してくださいました。今年初めてのフリーマーケットにも11店の参加を得、開始時間の10時には、たくさんのお客さん。手作り作品や服、おもちゃなど品物を挟んで、たくさんのお会いがありました。体験コーナーも3教室に増やして実施。真剣な眼差しと笑顔が溢れる時間を共有することができました。



押し花体験（押し花を使ってのはがき大の作品制作）

夏まつりの時間帯でもあり、おとな子どもも大盛況。出来上がった作品に感心しきり。



ポーセラーツ体験（白磁の食器にシール等での絵付け）

コーヒーカップやお皿を、自分だけの作品に仕上げ、出来栄に思わずにっこり。



パソコン体験（デザインを選んでの下敷き制作）

自分で選んだデザインの下敷きに大満足。作品と一緒に笑顔でパチリ。学校でちゃんと使ってくれるかな。



そして、最終日はなんといっても地元自治会主催の「夏まつり」。櫓の組み立てや、屋台の出店準備など、地元の方の準備も万端。午後7時から懐かしい音楽に乗せ、盆踊りが始まりました。踊りを楽しむ人、踊りを見ながら会話を楽しむ人、地域の触れ合いの輪が踊りの輪を中心に醸し出される2時間でした。子どもたちは、無料のアイスクリン・ジュース・ボールすくい・型抜きなどに大喜び、賑やかに笑い声ははじけました。おとなは、焼き鳥やフランクフルトを片手に、ビールを傾ける。「やはり、日本の夏はこれだ。」と感じました。夏まつりの締めくくりは、「くじ引き」。昨年10本だった当たりくじを25本に増やして実施。当選者の名前が発表されるたびに、あちらこちらで拍手が聞こえる楽しい時間でした。

地元の方や、ゆめじゅく会の会員さんなど、多くの方の協力を得て実施した「であい展」と「夏まつり」。今年もたくさんのお会いがあり、触れ合いの輪が広がる5日間でした。作品と出会い、人と出会い、そして明るい笑顔と温かい心に触れ合う「であい展」と「夏祭り」。来年も多くの方のお越しをお待ちします。